

# 令和6年度大阪エコ農産物の残留農薬分析結果について（9月実施分）

大阪府環境農林水産部農政室推進課

## 1 目的

大阪エコ農産物の安全・安心の確保に向け、農薬の使用状況と残留農薬を調査し、生産者に対して農薬の適正使用の指導を行う。

2 分析期間 令和6年9月30日～10月2日

3 分析農薬の種類 50農薬

4 検査機関 地方独立行政法人大阪府立環境農林水産総合研究所

## 5 分析結果

3種類の作物について、計8検体調査を行いました。

食品衛生法に基づく残留基準値を超える検体はありませんでした。

表 分析結果

作物の種類	エコ栽培基準 (農薬上限使用延成分 回数)	分析 検体 数	農薬が 検出さ れた 検体数	検出された農薬の 成分名		残留濃度 (ppm)	残留 基準値 (ppm)
水稻	7	6	3	検体1	トリシクラズール	0.06	3
					スルホキサフロル	0.04	2
				検体2	ジノテフラン	0.02	2
					検体3	ジノテフラン	0.04
さつまいも	0	1	0	—		—	—
なす (露地)	11 (栽培期間6ヶ月)	1	0	—		—	—

**農薬取締法、食品衛生法、エコ農産物の栽培基準のいずれにおいても問題ありません。**

水稻で検出された農薬成分は適正に使用されたものです。検出された農薬成分は残留基準値を下回っており、農薬取締法、食品衛生法、エコ農産物の栽培基準のいずれにおいても問題ありません。